

# 平成28年第六管区海上保安本部10大ニュース



この10大ニュースは、六管管内で発生した今年一年間の海上保安をめぐる出来事について、六管職員及び報道関係記者の方へのアンケートにより選出したものです。

## 1 歴史的訪問！原爆投下後初の米国大統領の広島訪問に伴う海上警護等実施

伊勢志摩にて開催されたG7サミット首脳会議終了後、米国大統領はその日のうちに、米軍岩国基地を慰問後、広島市内の平和記念公園を訪れました。内閣総理大臣等が出迎えて訪問を歓迎し、世界の衆目を集めました。そのような中、六本部・広島保安部・岩国保安署及び関係部署は、市内河川、広島港、米軍岩国基地前面等の臨海部において厳重な警護等を完遂することにより、この歴史的訪問の成功に貢献しました。



## 6 伊方発電所再稼動に伴う海上警備実施

8月12日、伊方発電所再稼動に伴い、警備実施を行いました。世界各国においてテロが頻発しており、原子力規制委員会による新規基準施行後、川内高浜の再稼動に続く3例目であり、熊本地震後、初の再稼動であったため、マスコミの注目を集めたところ、警察及び四国電力等関係機関と連携し、地道な情報収集やCR活動を行い、猛暑の中、警備実施を無事終了しました。



## 2 G7サミット外務大臣会合海上警備実施

全国各地で開催されたG7サミット大臣会合の中で最初に開催された外務大臣会合が4月10日、11日広島市臨海のホテルで行われました。六本部・広島保安部及び関係部署では、警備のための入念な準備のもと、船艇の派遣を受け、また、警察等関係機関と連携し、事前から厳重な警備実施を行うとともに、要人の宮島訪問時には、動静に合わせシフトしながらの困難な海上警備を成し遂げました。



## 7 プレジャーボート窃盗犯1名を逮捕

岩国保安署は、1月に岩国港内係留中のプレジャーボート1隻（200万円相当）の盗難被害届を受け、広範囲に及び捜索を長期にわたって継続し、被害現場から約60キロ離れた人目に付きにくい船溜りにおいて船体色を塗り替えるなど偽装の施された被害船舶を発見、目撃証言を丹念に集めて早期に被疑者1名を割り出して通常逮捕し、綿密な鑑識活動等によって得られた客観的証拠を積み上げ、事件の全容を解明しました。



## 3 G7サミット情報通信大臣会合海上警備実施

4月30日からの2日間、高松港隣接会場で開催された、G7サミット情報通信大臣会合に関し、高松保安部及び関係部署は、六本部とともに海上警備を実施しました。警備実施にあたり、警察等関係機関と連携して、マリーナ等在泊船舶及び旅客船ターミナル等施設の事前踏査、警備実施訓練等、諸準備を重ね、万全の体制を整えて臨み、何事もなく無事海上警備を成し遂げました。



## 8 不法な荒稼ぎは絶対に許さん！潜水器密漁事件で4名を逮捕

広島保安部では、密漁の情報をもとに半年に及び内偵を粘り強く進め、10月11日、犯行グループの居宅や使用船舶等への捜索差押えを実施し、犯行に及んだ関係者を特定するとともに、12日までに計4名を逮捕しました。このグループは、広島をはじめ他県の海域でなまこやさざえなどを不法に採捕していたことが明らかになりました。



## 4 なまこ等950キロ密漁で乗組員等5名逮捕

水島保安部は、夜間に潜水器密漁を行っているとの情報入手。約2年にわたる内偵捜査を経て、五管区等と連携した取締りを実施した結果、密漁現場の採証に成功し、漁船乗組員等4名を緊急逮捕、密漁品の買受人1名を通常逮捕し、なまこ等約950キロ、約28万円相当の密漁をしたもので、本件以外になまこ等約2,900キロ、約2,000万円もの不法水揚げを行っていた実態を解明しました。



## 9 山口県徳山下松港ケミカルタンカー浸水

強アルカリ性の劇物苛性ソーダ約450トンを積載したケミカルタンカーが徳山下松港を出港直後、浸水したとの通報がありました。徳山保安部が調査に向かったところ同船は大きく左舷側に傾いている状況であったが、乗組員4名にけがはなく、積荷の流出もありませんでした。調査の結果、バラストタンク水約33トンが未排水のまま残っていたことが原因である可能性が高いことが判明しました。



## 5 海保初！女性特別捜査員誕生！

六本部は、重大事件などに対応するため、平成9年から運用している専門捜査員制度において、女性被疑者や女性被害者など女性の関連する犯罪捜査への確に対応する体制を強化するため、高度な捜査技術を有する女性海上保安官3名を特別捜査員及び新たに設けた女性関連犯罪捜査員に指名し、海保初となる女性特別捜査員が誕生しました。



## 10 外国船舶による福山市鞆・走島海底送水管損壊事件

福山保安署は、平成28年3月、福山市走島への送水管が破損したことを受け、福山港の出入港届や代理店への聞き込みを端緒に、当日同港へ入港した外国船舶が、送水管損壊現場を航行したことを特定、六本部海洋情報部所属測量船くしまにより海底送水管の一部を発見し、当該船舶が入港の際の錨泊作業中、錨を海底まで下ろして引きずり、水道管を引っ掛け損壊した事実を解明しました。

